

3.8 「消費構造の変化」に関するまとめ

前頁までの結果をもとに、以下では岐阜県における消費構造の変化に関して「マクロトレンド」、「ミクロトレンド」に分けて分析を行う。

(1)マクロトレンド

「必需的消費割合の減少」と「選択的消費割合の増加」

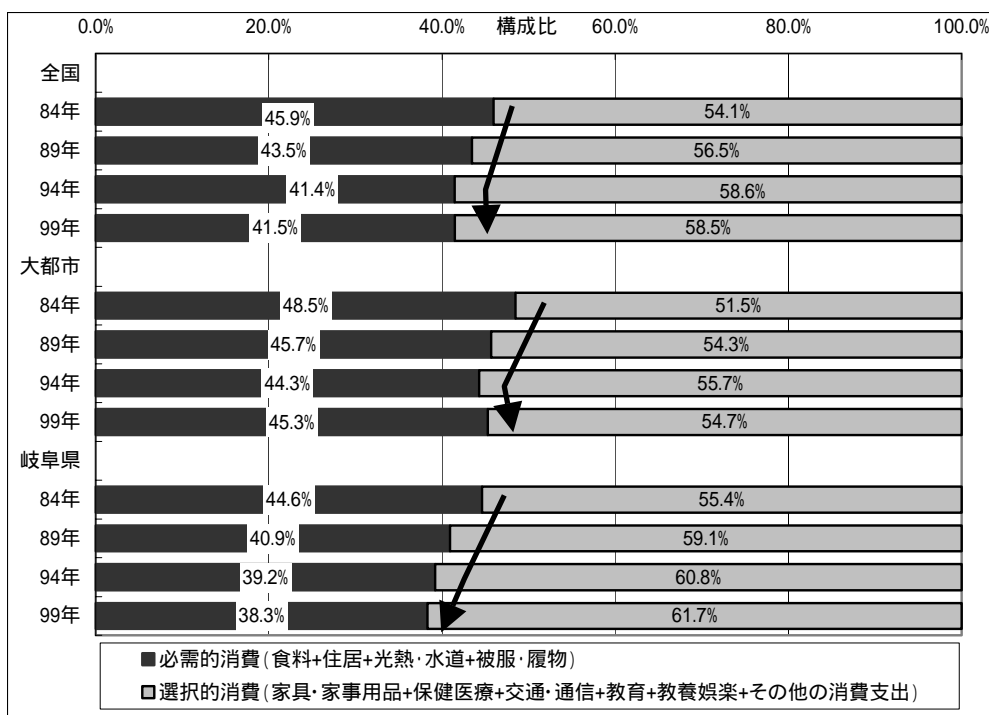
まず、マクロ的な視点で見た消費構造の変化としてあげられるのが「必需的消費割合の減少とそれに伴う選択的消費割合の増加」である。必需的消費項目とは、消費者の毎日の生活にとって欠かせない「衣・食・住」の「食料、住居、光熱・水道、被服・履物」であり、家計消費においては基礎的・固定的な項目となる。その一方で、選択的消費項目とは、それ以外の項目で、収入額の多さ等により支出額の変動が大きい項目である。

我が国では、高度経済成長期以後一貫して、所得の増加により教育娯楽などの選択的消費割合が増加し、それにより相対的に必需的消費の割合が減少するという構造になっている。こうした選択的消費割合の増加は、まさしく「家計の余裕度が高く、自由に消費ができる幅が広い」ことを意味する。

しかし、昨今においては所得の低下により、全国・大都市では1999年にそれまでの選択的消費割合の増加傾向がわずかながら変調をきたしている。

岐阜県においては1999年も所得の微増を背景に、これまでどおり選択的消費割合が増加しているが、今後、所得が減少に転じれば全国及び大都市と同様に増加傾向が頭打ちとなり、家計の苦しさを物語った傾向があらわれる可能性が高い。

図表：「必需的消費」と「選択的消費」の消費支出構成比



「サービス消費」の拡大

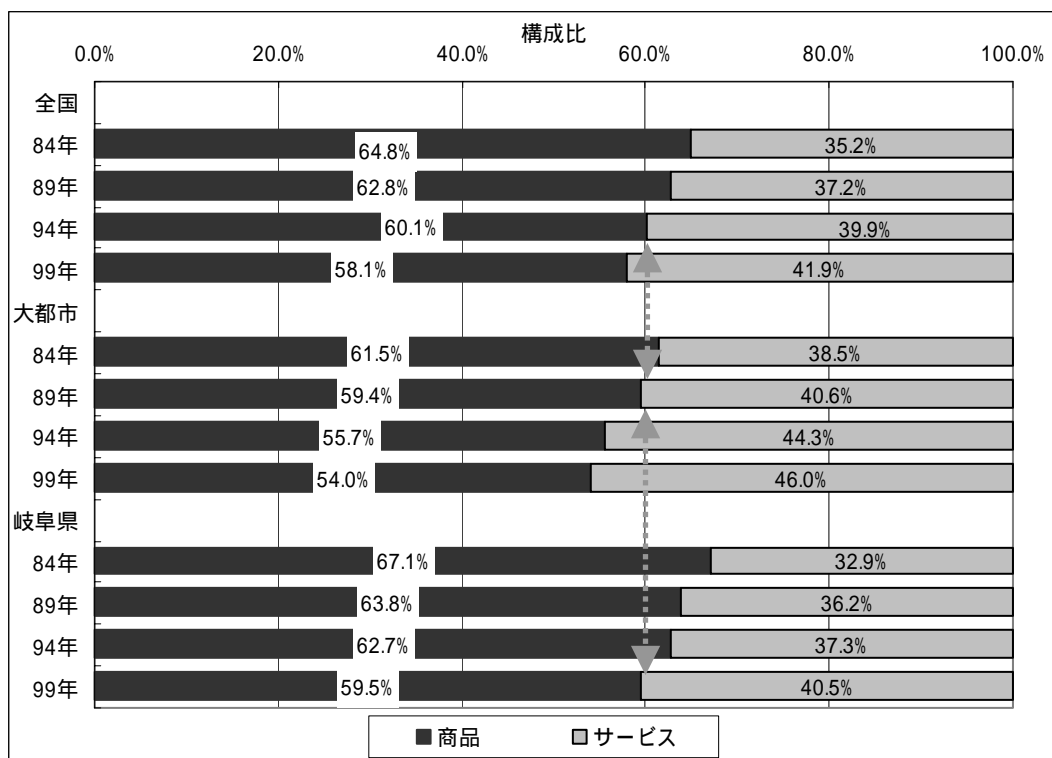
各消費費目別に支出の増減傾向を見ると、食料における「外食」の増加、保健医療での「保健医療サービス」の増加、交通・通信での「通信料」の増加等、「サービス費目」に対する支出増加が非常に目立っている。

その一方で、食料では「肉類・魚介類・果物」等の生鮮食品の減少、被服及び履物でのほぼ全品目の減少、交通・通信での「自動車購入」の減少など、「モノ」への支出減少が際立っている。

こうした「モノからサービス」への支出比重の移行は、前述の「必需的消費割合の減少・選択的消費割合の増加」と同様に、我が国で生活水準の向上とともに一貫して見られる現象であったが、下図のとおりここ約20年間に於いてもこのトレンドは今なお続いている。特に最近では「IT社会の到来による情報通信・サービスの消費拡大」「高齢化社会の進展による保健医療関連サービスの消費拡大」がより一層サービス化へと拍車をかけ、今後もこの傾向が続いていくものと見込まれる。

なお、サービス消費比率の拡大は大都市が先行しており、その後全国平均値、岐阜県が追う展開となっている。大都市では1989年にはサービス消費の割合が40%を上回っており、全国では1994年、岐阜県では1999年に約40%となっており、大都市よりも全国は約5年、岐阜県は約10年遅れている。

図表：商品・サービス別の消費支出構成比



IT 関連商品・サービスへの消費拡大

岐阜県及び全国・大都市とも、消費増加額の上位に IT 関連商品・サービスがランクインしている。下表のとおり、まず「固定電話通信料」は岐阜県で約 1,600 円増加しており、全国及び大都市の増加幅を大幅に上回っている。また、「移動電話通信料」は、岐阜県は約 4,500 円と全国及び大都市の 2 倍近い支出となっている。通信支出額の高低は、一般的に世帯人数による影響があるものの、全国平均の世帯人数（総務庁「国勢調査」2000 年）が 2.67 人であるのに対して、岐阜県は 3.07 人であるため、この要因を排除しても 1 世帯当たりの使用量が非常に増えていることがわかる。

また、「パソコン」も約 +900 円と、大都市の増加幅には及ばないものの全国以上の伸びを示しており、岐阜県においては IT 関連商品・サービスへの消費拡大が顕著なものとしてあらわれている。

図表:IT 関連商品・サービスの支出額の変化

増加額(1999年 - 1989年)の順位			消費費目		1989年の消費支出額			1999年の消費支出額			増加額(1999年 - 1989年)			増加率(1999年/1989年)		
岐阜県	全国	大都市	大分類(10分類)	詳細費目	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市
8	10	18	交通・通信	通信 固定電話通信料	4,928	5,569	6,070	6,530	6,558	6,644	1,602	989	574	32.5%	17.8%	9.5%
18	13	10	教養娯楽	教養娯楽用耐久財 パソコン	380	325	225	1,250	1,098	1,303	870	773	1,078	228.9%	237.8%	479.1%
89	68	60	交通・通信	通信 通信機器	212	140	164	272	227	250	60	87	86	28.3%	62.1%	52.4%
			交通・通信	通信 移動電話通信料				4,475	2,134	2,074	4,475	2,134	2,074			

保健医療関連商品・サービスへの消費増加

保健医療関連の支出項目は岐阜県及び全国・大都市で共通して、増加額の上位項目となっている。特に岐阜県では「入院料（出産以外）」「医療診療代」の増加額が全国及び大都市を上回っており、さらに1999年の支出額自体もこれら以上となっている。

保健医療サービスの支出増加は物価上昇による影響が見込まれるものの、全国と岐阜県における「保健医療」の物価水準はほぼ同率であり（第 章より）また、岐阜県は全国平均よりも老年人口率が高いこと（第 章より）等から、岐阜県は実質的に保健医療関連への支出水準そのものが高くと見られる。そのため、高齢化が進展し消費者の医療負担費が上昇する今後においても、これらの支出額はますます増加していくものと見込まれる。

図表: 保健医療関連商品・サービスの支出額の変化

増加額(1999年 - 1989年)の順位			消費費目			1989年の消費支出額			1999年の消費支出額			増加額(1999年 - 1989年)			増加率(1999年/1989年)		
岐阜県	全国	大都市	大分類(10分類)	詳細費目		岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市
15	21	16	保健医療	保健医療サービス	出産以外の入院料	472	710	699	1,468	1,295	1,286	996	585	587	211.0%	82.4%	84.0%
16	11	21	保健医療	保健医療サービス	医科診療代	2,263	2,230	2,289	3,211	3,098	2,807	948	868	518	41.9%	38.9%	22.6%
38	61	53	保健医療	保健医療サービス	歯科診療代	826	1,176	1,374	1,177	1,280	1,512	351	104	138	42.5%	8.8%	10.0%
52	42	41	保健医療	保健医療用品・器具	保健用消耗品	362	322	324	588	548	556	226	226	232	62.4%	70.2%	71.6%
54	73	69	保健医療	保健医療用品・器具	紙おむつ	211	329	350	415	397	406	204	68	56	96.7%	20.7%	16.0%
58	59	56	保健医療	保健医療サービス	診療代・入院料以外の保健医療サービス	693	567	616	865	693	737	172	126	121	24.8%	22.2%	19.6%
63	84	96	保健医療	保健医療サービス	出産入院料	215	236	225	377	268	224	162	32	-1	75.3%	13.6%	-0.4%
79	67	73	保健医療	保健医療用品・器具	他の保健医療用品・器具	125	318	296	233	405	339	108	87	43	86.4%	27.4%	14.5%

「新規購入」から「メンテナンス」への消費増加

岐阜県は全国のなかでも自動車普及率が非常に高いが、1989年から1999年間の「自動車購入」への支出額は減少しており、とりわけその減少幅は全国平均が約300円であるのに対して、岐阜県は約2,000円と非常に大きい。

その一方で、岐阜県及び全国では、下表のとおり自動車まわりの「自動車整備費」「自動車等部品」「自動車等関連用品」等は、軒並み堅調な動向を示している。

こうした状況は、所得状況が悪化し新規購入が手控えられるなか、既に購入済みの自動車に対するメンテナンス費用に比重を移し変えている消費者行動のあらわれである。またこうした現象は、収入減少要因だけではなく、自動車性能そのものの向上や大量消費型から循環型消費に消費者意識が変化（第 4章より）していることも、新規買い替え需要を押し下げている要因として考えられる。

なお、全国及び大都市では、住居リフォーム等が含まれる「修繕・維持工事費」が1989年から1999年にかけて増加額トップ項目となっており、自動車以外でもこうした「メンテナンス需要」が高まっている。これまで、我が国の住宅行政では「新築住宅」の開発に比重が置かれていたが、ここ最近になって「中古住宅」の流通に軸足を移し始めている。岐阜県においては現在のところ「修繕・維持工事費」の伸びは低いが、こうした行政の動きから、今後は住宅の分野でも「循環型消費」の拡大とそれによる「メンテナンス消費」への需要が高まるものと見られる。

図表：自動車及び住宅関連の支出額の変化

増加額(1999年-1989年)の順位			消費費目			1989年の消費支出額			1999年の消費支出額			増加額(1999年-1989年)			増加率(1999年/1989年)			
岐阜県	全国	大都市	大分類(10分類)	詳細費目			岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市
27	27	31	交通・通信	自動車等関係費	自動車等維持	自動車等部品	581	291	111	1,088	736	425	507	445	314	87.3%	152.9%	282.9%
35	29	25	交通・通信	自動車等関係費	自動車等維持	自動車整備費	2,212	1,653	1,026	2,590	2,061	1,500	378	408	474	17.1%	24.7%	46.2%
39	45	50	交通・通信	自動車等関係費	自動車等維持	自動車等関連用品	210	243	178	559	463	329	349	220	151	166.2%	90.5%	84.8%
46	35	35	交通・通信	自動車等関係費	自動車等維持	他の自動車等関連サービス	526	560	447	797	892	724	271	332	277	51.5%	59.3%	62.0%
189	2	1	住居	設備修繕・維持	工事その他のサービス	修繕・維持工事費	4,731	4,157	3,495	4,483	6,931	6,393	-248	2,774	2,898	-5.2%	66.7%	82.9%
219	202	218	交通・通信	自動車等関係費	自動車等購入	自動車購入	8,830	6,683	5,248	6,897	6,366	3,743	-1,933	-317	-1,505	-21.9%	-4.7%	-28.7%

食生活における労力軽減とアメニティ化

岐阜県では、全国及び大都市と共通して、食料関連の支出で「調理食品」「外食」が増加しており、すべて消費支出費目のなかでも相対的にその伸びが高い。

特に、岐阜県においては「外食」の1999年の支出額が全国より約3,000円高く、大都市と同水準にあり非常に高い状況となっている。

「外食」の支出増加は、まず、女性の社会進出や生活時間の多様化・深夜化等が進展しているなかで(第 章より)家事に対する労力軽減・充当時間の削減に対する潜在的ニーズが大きな影響を及ぼしているものと見られる。また、生活水準の向上とともに我が国の食生活は非常に豊かになり、貧困時代の「生きるための食事」から「楽しむ食事」へとその目的が変わってきている。こうした食生活のアメニティ化が「外食」消費への拡大を促進している。

図表:食料の支出額の変化

増加額(1999年 - 1989年)の順位			消費費目			1989年の消費支出額			1999年の消費支出額			増加額(1999年 - 1989年)			増加率(1999年/1989年)		
岐阜県	全国	大都市	大分類(10分類)	詳細費目	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	
5	3	2	食料	調理食品	5,052	4,928	5,353	7,534	7,403	7,794	2,482	2,475	2,441	49.1%	50.2%	45.6%	
13	14	7	食料	外食	15,899	13,676	15,808	17,065	14,442	17,174	1,166	766	1,366	7.3%	5.6%	8.6%	
23	17	15	食料	飲料	2,780	2,943	3,104	3,389	3,613	3,722	609	670	618	21.9%	22.8%	19.9%	
30	34	32	食料	油脂・調味料	2,952	2,878	2,903	3,388	3,226	3,203	436	348	300	14.8%	12.1%	10.3%	
31	36	37	食料	乳卵類	4,157	3,992	3,992	4,580	4,274	4,258	423	282	266	10.2%	7.1%	6.7%	
166	72	48	食料	酒類	3,886	4,080	4,162	3,761	4,153	4,325	-125	73	163	-3.2%	1.8%	3.9%	
169	193	198	食料	野菜・海藻	11,096	11,089	11,872	10,969	10,889	11,468	-127	-200	-404	-1.1%	-1.8%	-3.4%	
192	218	217	食料	穀類	10,394	9,915	9,403	10,131	8,765	8,004	-263	-1,150	-1,399	-2.5%	-11.6%	-14.9%	
198	219	219	食料	魚介類	9,279	11,260	11,412	8,964	9,927	9,899	-315	-1,333	-1,513	-3.4%	-11.8%	-13.3%	
208	203	204	食料	菓子類	7,966	7,132	7,111	7,520	6,807	6,639	-446	-325	-472	-5.6%	-4.6%	-6.6%	
212	220	220	食料	肉類	8,518	9,122	9,864	7,935	7,683	8,039	-583	-1,439	-1,825	-6.8%	-15.8%	-18.5%	
216	217	214	食料	果物	5,579	5,341	4,988	4,493	4,294	3,951	-1,086	-1,047	-1,037	-19.5%	-19.6%	-20.8%	

レジャー・余暇活動への消費増加(癒し系消費の増加)

全消費支出額が伸び悩むなかで、レジャー・余暇活動関連の支出項目も比較的堅調に伸びている。

下表のとおり、まず、「国内パック旅行費、外国パック旅行費、宿泊料」の旅行関連サービスへの支出が拡大している。1999年における岐阜県の支出額は、「外国パック旅行費、宿泊料」が全国・大都市よりも下回るが、「国内パック旅行費」に関しては全国・大都市を大きく上回っている。

また、昨今のガーデニングブームを反映して「園芸品・同用品」、「切花」も伸びが大きく、岐阜県の1999年の支出額は全国・大都市以上となっている。

こうした費目はいわゆる「癒し系」の消費とも言われ、景気低迷下において消費者マインドが悪化するなかで、比較的有望な市場として位置付けられる。

図表:レジャー・余暇活動への支出額の変化

増加額(1999年 - 1989年)の順位			消費費目				1989年の消費支出額			1999年の消費支出額			増加額(1999年 - 1989年)			増加率(1999年/1989年)		
岐阜県	全国	大都市	大分類(10分類)	詳細費目		岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	
10	9	14	教養娯楽	教養娯楽サービス	バック旅行費	国内バック旅行費	3,579	3,418	3,778	5,011	4,443	4,407	1,432	1,025	629	40.0%	30.0%	16.6%
21	22	20	教養娯楽	教養娯楽サービス	他の教養娯楽サービス	スポーツ施設使用料	815	781	946	1,480	1,327	1,509	665	546	563	81.6%	69.9%	59.5%
24	31	42	教養娯楽	教養娯楽用品	園芸品・同用品		585	472	364	1,171	863	594	586	391	230	100.2%	82.8%	63.2%
32	25	24	教養娯楽	教養娯楽サービス	宿泊料		725	865	1,035	1,145	1,337	1,543	420	472	508	57.9%	54.6%	49.1%
42	24	27	教養娯楽	教養娯楽サービス	バック旅行費	外国バック旅行費	400	713	977	722	1,197	1,397	322	484	420	80.5%	67.9%	43.0%
50	44	47	教養娯楽	教養娯楽用品	切り花		657	701	792	910	924	956	253	223	164	38.5%	31.8%	20.7%

公共料金の負担増加

岐阜県、及び全国・大都市で共通して支出額が増加しているのが「公共料金」である。

岐阜県では、「電気代」が約 3,000 円、「上下水道料」が約 2,000 円、「プロパンガス」が約 1,000 円と軒並み増加しており、かつその増加額は全て全国・大都市を上回っている。

こうした状況は、第 4 章で見たとおり、岐阜県のみならず全国的な公共料金の上昇が主因となっている。

光熱・水道関連の支出は他の費目と比べて家計のなかでは基礎的・固定的支出であるだけに、収入額が頭打ちとなるなかで、こうした公共料金の負担増は家計に重くのしかかっている。そのため、家計の余裕度が低下し、選択的な消費費目に対する支出拡大の足かせとなっている可能性が非常に高い。

図表: 公共料金の支出額の変化

●●● 上位1～10位
 ●●● ～20位
 ●●● ～30位

増加額(1999年 - 1989年)の順位			消費費目		1989年の消費支出額			1999年の消費支出額			増加額(1999年 - 1989年)			増加率(1999年/1989年)		
岐阜県	全国	大都市	大分類(10分類)	詳細費目	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市
4	4	3	光熱・水道	電気代	7,652	7,373	7,263	10,501	9,823	9,626	2,849	2,450	2,363	37.2%	33.2%	32.5%
6	6	9	光熱・水道	上下水道料	2,969	3,427	4,349	4,797	5,004	5,587	1,828	1,577	1,238	61.6%	46.0%	28.5%
17	46	101	光熱・水道	ガス代	3,144	2,111	834	4,070	2,312	826	926	201	-8	29.5%	9.5%	-1.0%
40	38	107	光熱・水道	ガス代	909	2,032	3,789	1,250	2,302	3,773	341	270	-16	37.5%	13.3%	-0.4%
95	89	148	光熱・水道	他の光熱	832	686	351	883	704	287	51	18	-64	6.1%	2.6%	-18.2%
143	117	100	光熱・水道	他の光熱	96	76	45	48	50	38	-48	-26	-7	-50.0%	-34.2%	-15.6%

贅沢品への消費抑制

バブル期の1989年と長引く景気低迷下にある1999年との支出額を比較すると、1999年にはバブル期に消費が大幅に拡大したいわゆる「贅沢品」への消費抑制が目立つ。これは、岐阜県及び全国・大都市に共通して見られる現象である。

下表のように「タクシー代」は、岐阜県で50%以上と大きく減少している。また、高額商品の代表である「自動車」や「ピアノ」も下落しており、岐阜県では全国平均以上の減少幅となっている。

こうした状況は、まさに可処分所得の頭打ちにより、家計にはバブル期のような余裕度がないことを浮き彫りとしている。

図表：贅沢品の支出額の変化

●●● 最下位221～212位
 ●●● ～202位
 ●●● ～192位

増加額(1999年-1989年)の順位			消費費目			1989年の消費支出額			1999年の消費支出額			増加額(1999年-1989年)			増加率(1999年/1989年)		
岐阜県	全国	大都市	大分類(10分類)	詳細費目		岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市	岐阜県	全国	大都市
201	192	177	交通・通信	交通	タクシー代	634	723	1,006	289	536	865	-345	-187	-141	-54.4%	-25.9%	-14.0%
214	215	203	その他の消費支出	諸雑費	たばこ	2,371	2,111	1,854	1,331	1,365	1,410	-1,040	-746	-444	-43.9%	-35.3%	-23.9%
217	210	208	その他の消費支出	諸雑費	理美容サービス	2,053	1,728	1,919	889	1,275	1,336	-1,164	-453	-583	-56.7%	-26.2%	-30.4%
219	202	218	交通・通信	自動車等関係費	自動車等購入	8,830	6,683	5,248	6,897	6,366	3,743	-1,933	-317	-1,505	-21.9%	-4.7%	-28.7%
221	184	161	教養娯楽	教養娯楽用耐久財	ピアノ	718	189	161	0	53	80	-718	-136	-81	-100.0%	-72.0%	-50.3%